

静岡県道路公社

伊豆スカイライン開通60周年
箱根スカイライン開通50周年記念

写真 動画 コンテスト

写真部門 受賞作品 発表

たくさんの御応募ありがとうございました。

令和3年9月1日から開始の「秋の部」に始まり、「冬の部」「春の部」「夏の部」「思い出の部」の5部門に

延べ222人・562点の、たくさんの御応募をいただきました。ありがとうございました。

各部の一次審査通過作品と佳作の中から以下の作品が大賞・優秀賞・特別賞に選定されました。

おめでとうございます。



大賞

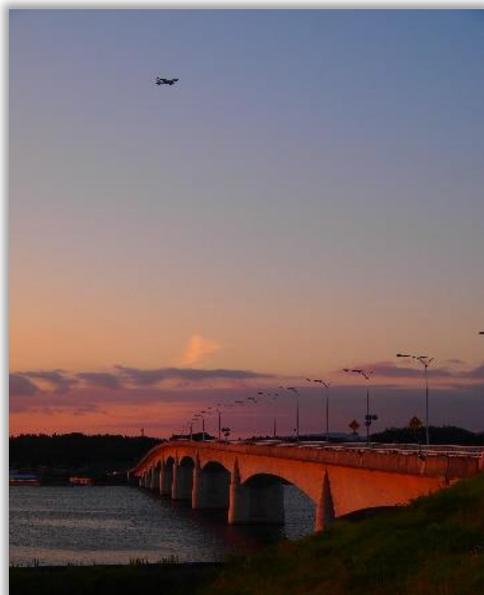


タイトル	染まるまちと
撮影者	塩川 里美
撮影地	箱根スカイライン 富士見ヶ丘公園
受賞者コメント	薄雲にほのかな期待を抱いてドライブしたら、鮮やかな夕焼けに出会いました。
審査評	夕焼けの富士山が綺麗。 その夕焼けの中、夕闇が迫る時刻にライトをつけて峠を下る車。 良い時間帯を捉えました。



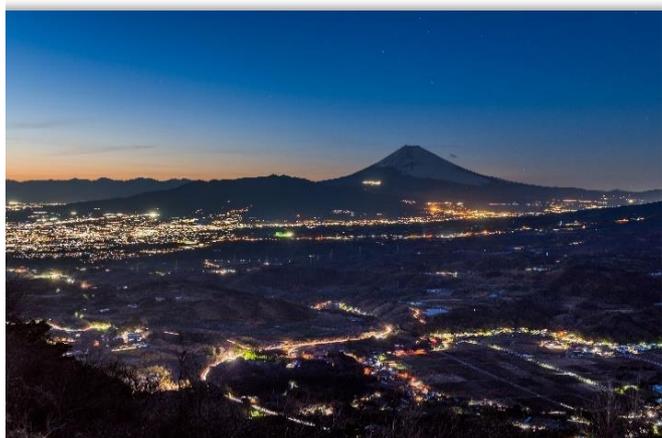
優秀賞

優秀賞(秋の部)



タイトル	大空の飛行機と茜色の橋
撮影者	小笠原 敦
撮影地	浜名湖新橋(はまゆう大橋) はまゆう大橋 駐車場
撮影者 コメント	撮影時に関係者の方がわざわざチラシを持ってそばまで来て、案内までしていただきました。 夕日がとても綺麗な場所でした。
審査評	上空に飛行機をいれた空間構成や夕焼けの中で橋の形が映える。 ダイナミックなアングルが印象的である。

優秀賞(冬の部)



タイトル	暮れゆく
撮影者	飯田 龍治
撮影地	伊豆スカイライン 西丹那駐車場
撮影者 コメント	駿河湾に沈む夕日と夜景を見たくて伊豆スカイラインをドライブした。お気に入りのビューポイント西丹那駐車場に車を止めて夕日を堪能。 カメラのレンズを望遠から広角に交換し、富士山麓から箱根西麓に広がる暮れゆく景色を撮影した。
審査評	「夜景100選」にも選ばれた夜景スポットが多くある伊豆スカイライン。 街あかりと富士山のシルエット、車の光跡が夜景の中で美しい。

優秀賞(春の部)



タイトル	降雪の朝のパトロール
撮影者	勝又 守洋
撮影地	箱根スカイライン 箱根芦ノ湖展望公園
撮影者 コメント	前夜からの春の雪に見舞われたため、ライブカメラにて状況を確認し、早速現地に急行した。 あたり一面白銀の世界に感激し撮影をしていたところ、偶然降雪による安全確認のためのパトロール車が通過、富士山をバックに撮った。
審査評	雪の白と空の青の中に黄色のパトロールカーが印象的。 除雪されて黒くカーブしている道路が浮き出ている。 早春に珍しく降った雪景色を撮った、象徴的な写真となった。

👑 優秀賞(夏の部)



タイトル	長さ比べ
撮影者	長谷田 恵理
撮影地	浜名湖新橋(はまゆう大橋) はまゆう大橋東岸堤防
撮影者コメント	日差しが和らいだ静かな湖畔。仲よし三姉妹の絆を見せ、はまゆう大橋に挑戦しました。
審査評	三姉妹で橋のアーチを模して橋と長さ比べをしているような、橋が親しまれているようで、なんとも微笑ましい。

👑 優秀賞(思い出の部)



タイトル	迫りくる大雲海
撮影者	山田 司朗
撮影地	伊豆スカイライン 玄岳駐車場
撮影者コメント	伊豆スカイラインは私の写真の原点です。此処から見た夕景に魅了され、写真を撮るきっかけとなった場所です。この日は未明から雲が出始め、日の出前には尾根に届きそうな大雲海に興奮しました。
審査評	普段は相模湾が見える場所の一面が、雲海に覆われている、めったに見られない風景。「天と地の境を走る」伊豆スカイラインのキャッチフレーズを表現するかのよう。



特別賞

👑 特別賞(伊豆スカイライン賞)



タイトル	富士を走る
撮影者	外川 俊行
撮影地	伊豆スカイライン 池の向駐車場と西丹那駐車場の間
撮影者コメント	楽しい旅行で出会った風景。
審査評	富士山と道路・車・二輪車が綺麗に入っている。道路の景観の良さ、快適なドライブが伝わる。



特別賞(箱根スカイライン賞)



タイトル	峠の小宇宙
撮影者	飯田 龍治
撮影地	箱根スカイライン 富士見ヶ丘公園
撮影者 コメント	富士見ヶ丘公園で夕日に輝くタンポポの綿毛の群れを見つけた。 小さな綿毛が存在感を主張した小宇宙の様だ。
審査評	タイトルどおり、小宇宙を見ているよう。 夕日に映えるタンポポの綿毛が幻想的。



特別賞(伊豆中央道賞)



タイトル	紅富士始動
撮影者	山口 勉
撮影地	伊豆中央道 日守大橋
撮影者 コメント	朝の動きが始まる紅富士の時間帯を撮影。
審査評	朝焼けで紅に染まる景色が、早朝の空気感を感じさせる。 ライトを点けて橋を走るトラック・車両も、これからの一日に向けて走っている様を象徴している。



特別賞(修善寺道路賞)



タイトル	堤に春が来た
撮影者	外川 俊行
撮影地	修善寺道路 大仁中央 C 近辺
撮影者 コメント	伊豆に春を求めて伊豆中央道を抜けて修善寺道路へドライブ、道路沿いの堤に咲く桜。 そして周囲の山々に咲く満開の桜が心を満たしてくれた。
審査評	お花見の人々の和やかな風景と、しっかりとした道路構造物の造形も美しい。

👑 特別賞(浜名湖新橋賞)



タイトル	絶景 はまゆう大橋の夕照
撮影者	小栗 進
撮影地	浜名湖新橋(はまゆう大橋) 浜松市西区 古人見町
撮影者コメント	今日は、はまなこ大橋上空に形の良い雲が現れている、まもなく夕日が沈む、空は見事な色合いを見せてくれる、浜名湖湖面上に一筋の光が差し込み素晴らしい夕焼け風景となってくれ、夢中でシャッターを押し続けた。
審査評	夕日を真ん中に、左右に伸びている橋が繊細で美しく、橋本来の姿が見える。 雲も夕焼けの中で非常に綺麗に表現できている。

👑 特別賞(夜景賞)



タイトル	電波塔とふたご座流星群
撮影者	上田 龍太郎
撮影地	伊豆スカイライン 滝知山園地展望台
撮影者コメント	一年を通じて伊豆スカイラインを利用していますが、滝知山展望台は熱海の花火や富士山、星空など様々な被写体を撮ることができる魅力的な場所です。
審査評	斜めの電波塔と星空の星座に流星、それを撮影している人影が入っているのも良い。 宇宙を感じさせる。 滝知山園地展望台の良さが伝わる。

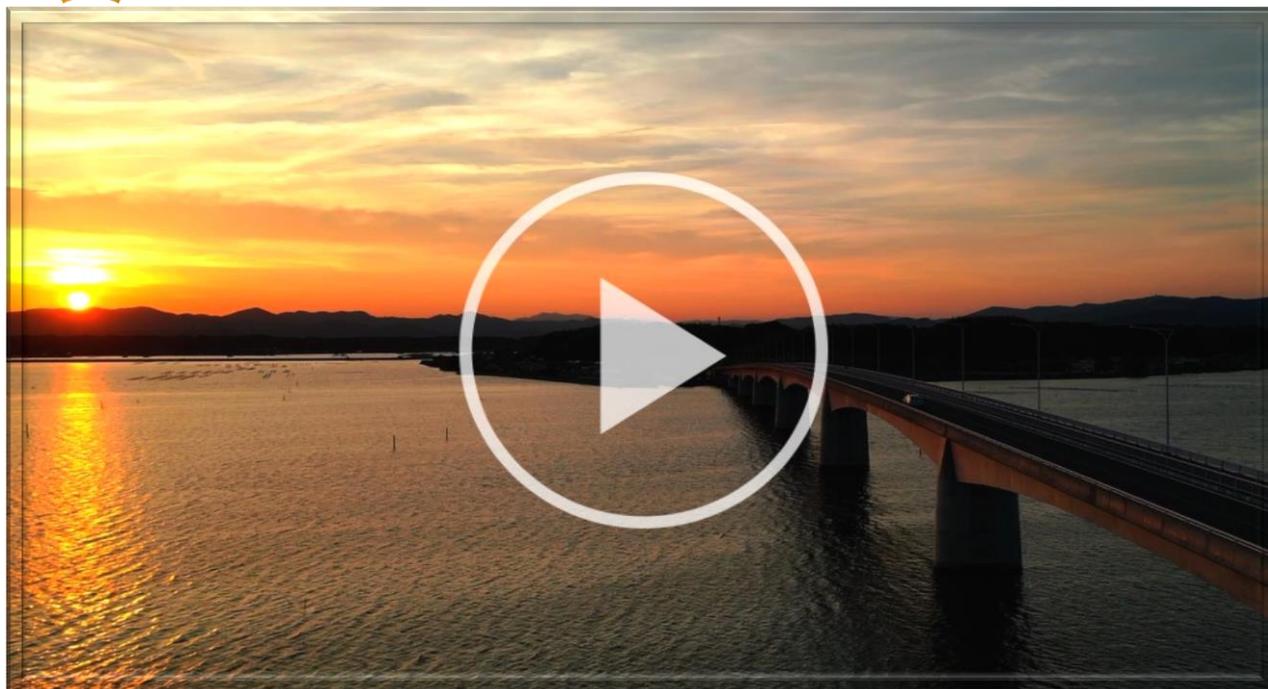
👑 特別賞(夜景賞)



タイトル	海に咲く大輪の華
撮影者	野崎 昭俊
撮影地	伊豆スカイライン 滝知山園地展望台
撮影者コメント	伊豆スカイラインの滝地山展望台からは熱海の街並みと海が一望できる景勝地です。 海をキャンバスにして花火を際立たせ、熱海の街灯りと合わせてみました。 冬は空気が澄んでいるので、街の景色も花火も綺麗に撮影することができました。
審査評	見事なシャープさで花火も街並みも捉えている。 海も空も境目のない青で、隙のない作品に仕上がっている。 海に浮かぶ光の船のよう。

動画部門 受賞作品発表

👑 大賞



タイトル	はまゆう大橋	撮影者 コメント	浜松といえば夕日。 浜松にいた頃、仕事が終わりに外に出ると西風と、その風が作り出す美しい夕空を見て癒されていました。 今回動画コンテストがあると聞いて、梅雨時特有の雨上がりの幻想的な空と美しい夕空、はまゆう大橋の雄大さを浜名湖で気持ちよく飛んでいる鳥の目線から表現してみました。 動画を見てくださる方に伝われば嬉しいです。
撮影者	久保 貴寛		
撮影地	浜名湖新橋 (はまゆう大橋)	審査評	物静かながら重厚な響きの音楽と共に荘厳な仕上がりになっている。広がりのある画(え)が連続的につながる心地よさの中に、一瞬のアップが入っていて、それも効いている。 はまゆう大橋の料金所もしっかり入っていて、橋の認識も良い。途中に入っている鳥の飛び立つタイミングは絶妙。 上手い、綺麗、全体を通して編集が秀逸。 夕焼けを見に、ここに行ってみたくなる。

👑 優秀賞



タイトル	空への道
撮影者	直井 基嘉
撮影地	伊豆スカイライン
撮影者 コメント	友人のシンガーソングライター芽亜利・Jさんに、本コンテスト用に楽曲作成していただきました。 そして車載した360度カメラで撮影した走行映像を採用し、伊豆スカイラインの魅力が動画ならではの表現方法で伝えられるように作成しました。
審査評	鐘の音からの始まりも良い。 このために書き下ろした楽曲のゆったりした曲調・声質と、ゆっくりとしたスピードの動画とがマッチしている。 見ていて、聞いていて、自然の中にいる空気感が伝わる。 なにより癒される。



特別賞(伊豆スカイライン賞)



タイトル	SUBARU Impreza Sport Above the Sky
撮影地	伊豆スカイライン
撮影者 コメント	絶景ドライブルートである伊豆スカイラインを美しい動画に残したいと思い、製作しました。 撮影は冠雪の富士山がよく見える冬の晴れた日に実施し、友人のSUBARU ImprezaのPV風の動画として、著作権対応の音楽を使用し仕上げました。
審査評	プロレベルの仕上がり ドローンを多用し、動画のつながりや切り替えの編集もリズム感があり見事。 これだけの動画の中に他の車が映っていないのも、撮影・編集に時間を要しているのが伺える。 そのまま車のCMに使える。



特別賞(浜名湖新橋賞)



タイトル	はまゆう大橋の午後
撮影者	加藤 孝司
撮影地	浜名湖新橋(はまゆう大橋)
撮影者 コメント	はまゆう大橋を様々な角度から撮影し、景観の素晴らしさを伝えたいと思いました。 特に、夕日が沈むときの橋と車のシルエットが素晴らしいと感じました。 静止画、タイムプラス動画、通常の動画(橋を通過する部分)を混在させることで、より大橋の良さが伝わるように編集してみました。
審査評	白洲町から古人見町にかかる、わずか1.3kmの「はまゆう大橋」を撮影した本作品からは、雄大な風景とともに、ファストモーション(倍速効果)もあいまって長い時間の経過を感じる。 また冒頭では橋の名前をきちっと見せることで、「この風景を自分の目で見てみたい」と思わせ、行動に結び付くPRビデオとしても効果的である。